２０２２年度

事　業　報　告　書

自　　2022年4月 1 日
至　　2023年3月31日

2023年6月29日

一般財団法人　**日本食品検査**

2022 年度　事業報告

1　事業活動

次の事項を重点的に実施した。

（１）品質保証体制（ＪＦＩＣ－ＱＡ、ＱＡｉ、ＱＡｃ）の推進を図り、「正確な試験」と「信頼される検査」を行うことで社会に貢献した。

（２）本部、首都圏事業所および各拠点の連携を強化することにより、迅速なサービス、総合力を生かした顧客対応を推進した。

（３）検査・試験における高い技術力を活かして国が進める HACCP の制度化、輸出促進事業に貢献した。

（４）食品関連企業の検査施設を対象として、試験技術、教育訓練および精度管理を組み合わせた総合的な技術サービスを提供した。

２　事業別概要

１　検査事業

（１）輸出検査事業

「農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律」（令和元年法律第 57 号）に基づき、2022 年度からはロシア、オーストラリア、ウクライナの 3 ヵ国向け水産食品の輸出に際し衛生証明書を発行した。

（２）冷凍食品検査事業

一般社団法人日本冷凍食品協会の委託を受け、冷凍食品認定制度に基づき、冷凍食品の品質・衛生管理に係る定期検査は 624 件（海外工場 12 件）、製品検査の実施は 665 件、認定・更新調査は 107 件（海外工場 11 件）、特別業務（細菌試験室指導・官能検査指導・非認定工場支援等）は 78 件実施した。

検査員の PCR 検査結果が陰性であることを前提に訪問を受け入れる工場も出てきたので訪問できる工場数は増えてきた。訪問できない工場については、Web にてリモート調査を実施した。本年度は年間 10 工場で対応した。

（３）衛生管理検査事業

食品の製造・流通・販売業者から依頼を受け、市場に流通している商品や原材料の細菌検査・理化学試験・品位検査を実施した。また、各社がプライベート商品などを製造委託している製造工場の安全性（法令遵守・リスク対策・フードディフェンスなど）について調査・監査を実施した。

外食産業や商業施設などの店舗・テナントなどの衛生状況の点検、施設・設備・従業員の手指などのふき取り検査、仕掛品・製品の細菌検査を実施した。

新型コロナウイルス感染による店舗調査、工場調査等の延期や中止は減少し、た。

（４）検査企画事業

食品関連事業者の品質保証体制の整備を推進するため、国内の食品工場における対米及び対 EUHACCP 認証取得の支援、ISO22000・FSSC22000 等の品質シ

ステム導入コンサルティングを積極的に受注した。また、農林水産省委託の対EUHACCP 定期監視業務が対象施設の増加、円安効果等による EU 輸出の復調に伴う EU 輸出荷口確認も大幅に増加した。

（５）研修事業

オープンセミナーについては、新型コロナ対応として、オンライン表示入門セミナーを年 8 回実施（前年度 6 回）した。一方、リアル開催については、15 回（前年度 18 回）実施した。

表示点検については新規にコンビニチェーンから受託した。

細菌検査技能評価試験については、受注枠を拡大した。また、官能検査技能評価試験の練習溶液販売で、グループ会社研修用として大口を受注した。

（６）輸入食品検査事業

食品衛生法登録検査機関として、同法第 26 条第 3 項に定められた製品検査および自主検査を輸入業者からの依頼により実施した。製品検査は、残留農薬、貝毒、カビ毒等の試験に対応した。自主検査は、遺伝子組換え、添加物規格試験が増加したが、微生物、器具容器、食品中の食品添加物試験が減少した。また、検疫所からのモニタリングアウトソーシングについては、残留農薬、動物用医薬品等を受託した。

（７）一般依頼試験事業

食品の製造・流通事業者および関係団体等からの依頼を受け、食品の品質および安全性に関する試験を実施した。昨年度に続き、機能性成分試験の依頼が大きく増加し、さらにビタミン類、食品中の食品添加物試験等の大口依頼を受託した。

２　委託事業

入札情報速報サービス（NJSS）を活用し、農林水産省入札案件に積極的に応札した結果、「肉用鶏由来盲腸内容物カンピロバクター属菌保菌量調査」、「EU 向け二枚貝生産海域モニタリング調査」、「二枚貝中のアザスピロ酸類、ドウモイ酸の含有実態調査」、「健康な愛玩動物由来の薬剤耐性モニタリング調査事業」、「疾病にり患した愛玩動物由来の薬剤耐性モニタリング事業」、「と畜場等における薬剤耐性モニタリング」、「砂糖・甘味料類及び飴菓子類中の鉛等の含有実態調査」等について委託を受け、年度内に滞りなく完了した。

また、地方公共団体等への入札参加資格を整備し、貝毒及び畜水産用医薬品、学校給食用食材の安全性に関する試験及び調査を受託し、年度内に完了した。

３　協議会開催

（一社）日本冷凍食品協会と共催で地区会員協議会（東北地区、近畿・中国・四国地区、九州・山口地区）を開催した。

４　品質保証

試験及び検査事業等に係る品質保証の充実、推進を図った。

（１）JFIC-QA（本法人における試験の品質保証規程に食品衛生法登録検査機関の

GLP、健康増進法登録試験機関のGLP及びISO17025を関連させて構築）及び関係する規定等について、見直し改訂を行った。

（２）農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律 第18条 第１項の規定に基づく登録認定機関（区分：３－Ｓ）の登録を受けた。

（３）全所で下記の精度管理プログラムへ参加し、試験技術及び精度の向上を図った。

１）（一財）食品薬品安全センター主催の食品衛生外部精度管理調査等（延べ 46 項目）

２）FERA Science Ltd 主催の食品化学分析等の技能試験 FAPAS®（延べ 15 プログラム）

３）公益社団法人　日本分析化学会主催の食品分析技能試験（放射能：1 施設）

（４）11 月に全所の信頼性確保部門指定者等を対象に、内部監査などのスキルアップ研修を実施した。また全所の品質保証担当者と Web 会議を実施し、課題解決や情報の共有を行った。